

調査速報

日銀短観（2020年12月調査）

業況の先行きや設備投資には慎重

研究員

白須 光樹

045-225-2375

m-shirasu@yokohama-ri.co.jp

要約

- 業況判断D Iは製造業、非製造業ともに2期連続で改善。ただ、先行きのD Iは非製造業で悪化。
- 2020年度の収益計画は大幅な減収減益見通しが続き、同年度の設備投資計画は一段と下方修正。
- 新型コロナウイルスの感染再拡大により、先行きの国内外の需給判断は慎重な見方が根強い。

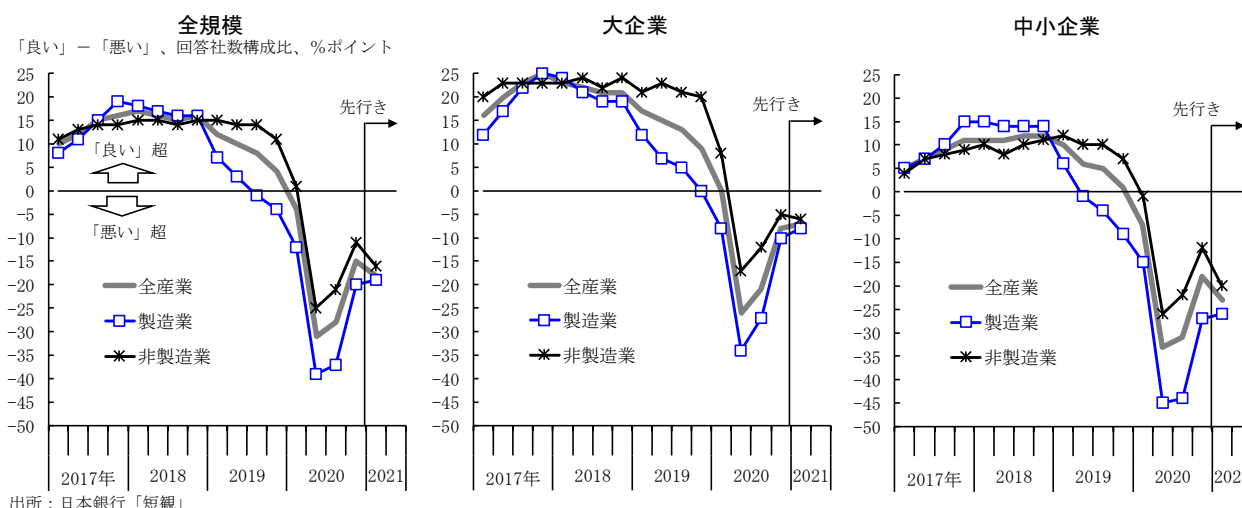
1. 業況判断 ～景況感は製造業、非製造業ともに改善も、先行きの見方は慎重

企業の景況感は改善しているものの、新型コロナウイルスの感染が再び拡大する中で、先行きに対する見方は依然として慎重である。12月14日に日本銀行が発表した『短観（2020年12月調査）』によると、業況判断D I（「良い」マイナス「悪い」）は、全規模・全産業ベースで-15となり、前回9月調査比13ポイント改善した（図表1左）。業種別にみると、製造業が同-20（前回調査比17ポイントの上昇）、非製造業が同-11（同10ポイントの上昇）となり、ともに改善した。ただ、先行き（3か月後）の業況判断D Iは全規模・全産業ベースで-18と、今回調査より3ポイント低い水準となった。製造業が同-19とわずかながら上昇する見通しである一方、非製造業は同-16と再び低下する見通しとなっている。

注目度の高い大企業・製造業の業況判断D Iは-10となり、前回調査から17ポイントの大幅改善となった（図表1中央）。業種別に詳しくみると、海外経済の持ち直しに伴う輸出の回復などを受けて、自動車が前回調査比48ポイント上昇の-13と大きく改善した。また、鉄鋼も同30ポイント上昇の-25と、改善幅が大きい。D Iの水準では、食料品が同7ポイント上昇して5となり「良い」超に転じた。外出自粛に伴う巣ごもり需要などが業況を下支えしたとみられる。

また、大企業・非製造業の業況判断D Iは-5となり、前回9月調査から7ポイント上昇した。ただ、前回調査に引き続き、コロナ禍で恩恵を受ける業種とそうでない業種の間で、非製造業の業況には大きな格差が生じている。業種別では、対個人サービスが前回調査比22ポイント上昇の-43、宿泊・飲食サービスが同21ポイント上昇の-66となり、コロナ禍が直撃した業種で改善幅が大きい。しかし、これら業種のD Iの水準は依然として大幅な「悪い」超の状態にある。一方で、通信（同8ポイント上昇の29）、情報サービス（同1ポイント上昇の23）は前回調査に続き大幅な「良い」超を維持した。在宅勤務や非接触型のサ

図表1 業況判断D I



ービスの導入など「新しい生活様式」に合わせて、企業のIT化投資の需要が強いことなどが影響した模様である。また、巣ごもり需要などを背景に小売のDIも同5ポイント上昇の23と、大幅な「良い」超が続いた。

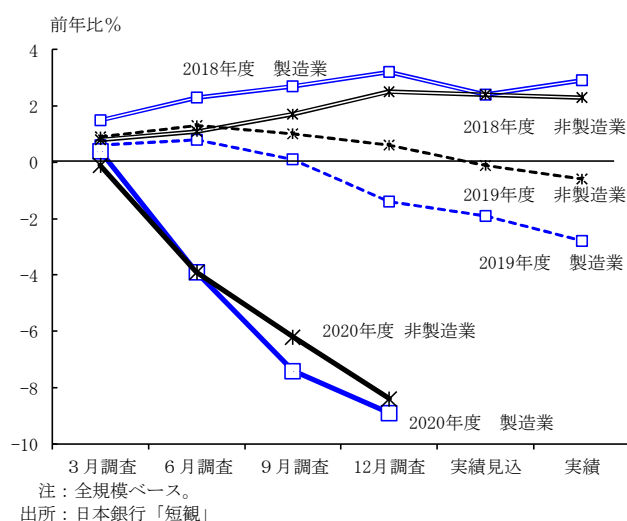
企業規模別にみると、中小企業でも業況は改善しているものの、先行きの見通しに自信を持っていない企業が多いことがうかがえる。中小企業・全産業の業況判断DIは前回9月調査比13ポイント上昇の-18となり2四半期連続で改善した(図表1右)。一方、中小企業・全産業の先行きの見通しは今回調査比5ポイント低下の-23となり、大企業・全産業(同1ポイント上昇の-7)で改善したのとは異なる動きを示した。非製造業の先行きの見通しが大企業以上に慎重であることにより、中小企業・全産業の先行きの見通しはより厳しいものとなっている。

2. 売上高・経常利益計画～2020年度計画は製造業、非製造業ともに大幅な減収減益の見通し

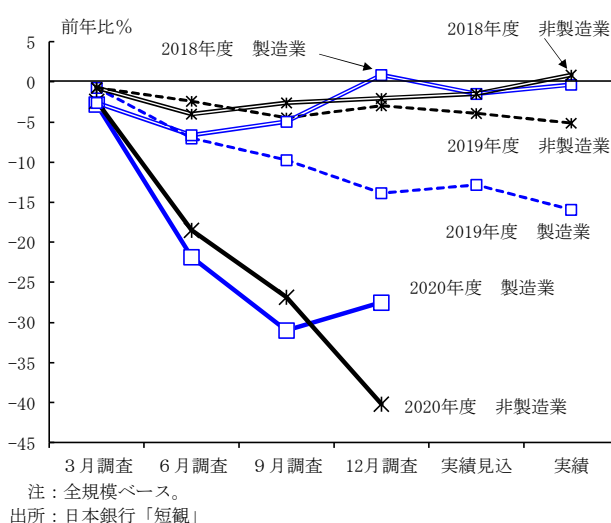
企業の業況は2020年6月調査を底に改善へ向かっているものの、2020年度の収益計画は下方修正が続いている。今回12月調査における同年度の売上高計画は全規模・全産業ベースで前年比-8.6%となり、前回9月調査(同-6.6%)から一段と下方修正された。業種別では、製造業が同-8.9%(前回調査:同-7.4%)、非製造業が同-8.4%(前回調査:同-6.2%)となり、ともに下方修正された(図表2)。

また、2020年度の経常利益計画も全規模・全産業ベースで前年比-35.3%と、前回調査(同-28.5%)を超える大幅な減益見通しとなった。業種別では、製造業が同-27.5%と前回調査の同-31.0%からやや上方修正された(図表3)。他方で、非製造業は同-40.2%と前回調査の同-26.8%から大きく下方修正された。

図表2 売上高計画(全規模・業種別)



図表3 経常利益計画(全規模・業種別)



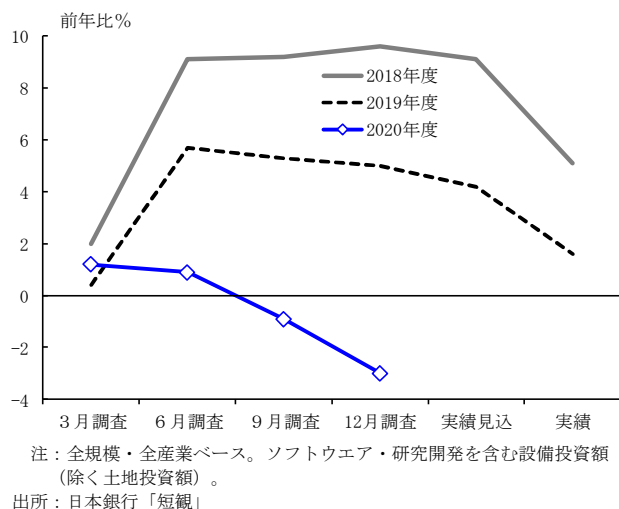
3. 設備投資計画 ～2020年度の設備投資計画は一段と下方修正

大幅な減益見通しを受けて、2020年度の設備投資計画も下方修正されている。全規模・全産業の同年度の設備投資計画(ソフトウェア・研究開発を含み、土地投資を除く設備投資額)は、前年比-3.0%と前回調査(同-0.9%)を超える前年比マイナス計画となった(図表4)。業種別では、製造業が同-2.6%となり、前回調査の同+0.3%から下方修正され、前年比マイナスの計画に転じた。また、非製造業も同-3.4%と前回調査の同-2.2%から一段と下方修正された。

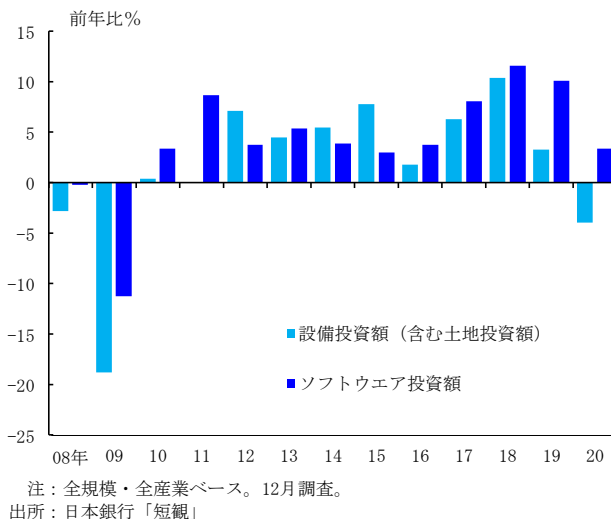
全体の設備投資が前年比マイナスの計画となる中で、ソフトウェア投資は今回の調査でも前年比プラスの計画を維持した。全規模・全産業の2020年度のソフトウェア投資の計画は、下方修正されたものの前年

比+3.4%となった(図表5)。業種別でも製造業が同+1.3%、非製造業が同+4.4%となり、ソフトウェア投資は一貫して前年比プラスの計画が続いている。ソフトウェア投資が比較的底堅い計画となっているのは、コロナ禍で企業のIT化投資の需要が高まったためとみられる。

図表4 設備投資計画(全規模・全産業)



図表5 設備投資計画(全規模・全産業、12月調査)



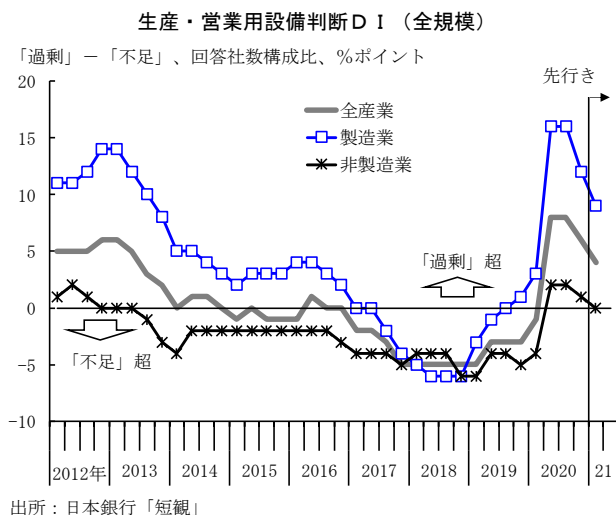
4. 設備判断DIは「過剰」超がやや縮小、雇用人員判断DIは「不足」超がやや拡大

企業設備の過剰感は幾分和らいでいる。全規模・全産業の生産用・営業用設備判断DI(「過剰」マイナス「不足」)は、前回調査比2ポイント低下の6となり、「過剰」超幅がやや縮小した(図表6)。業種別では、設備稼働率の改善などを背景に、製造業が同4ポイント低下の12となった。また、非製造業も同1ポイント低下の1となった。

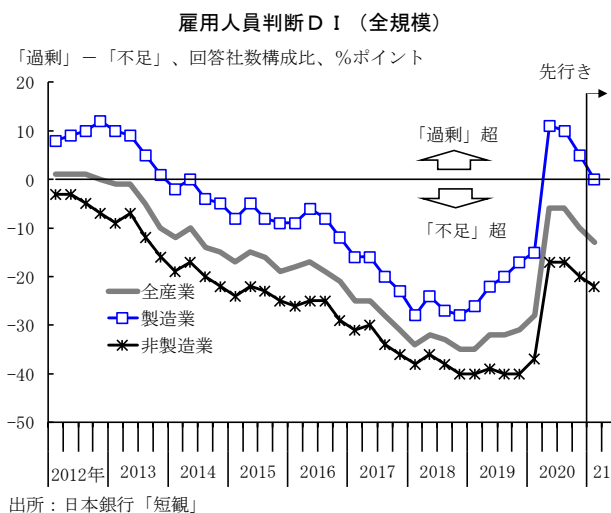
企業の人手不足感が緩やかに強まる方向で推移している。全規模・全産業の雇用人員判断DI(「過剰」マイナス「不足」)は、前回調査比4ポイント低下の-10となり、コロナ禍で急速に縮小した「不足」超幅が緩やかな拡大に転じている(図表7)。業種別では、製造業が同5ポイント低下の5となり、「過剰」超が続いた。非製造業は同3ポイント低下の-20となり、「不足」超幅が拡大した。

もっとも、今のところ企業の雇用に対するスタンスが明確に改善に転じたとは言い難い。毎年6月と12

図表6 設備判断は「過剰」超幅がやや縮小



図表7 雇用人員判断は「不足」超幅がやや拡大



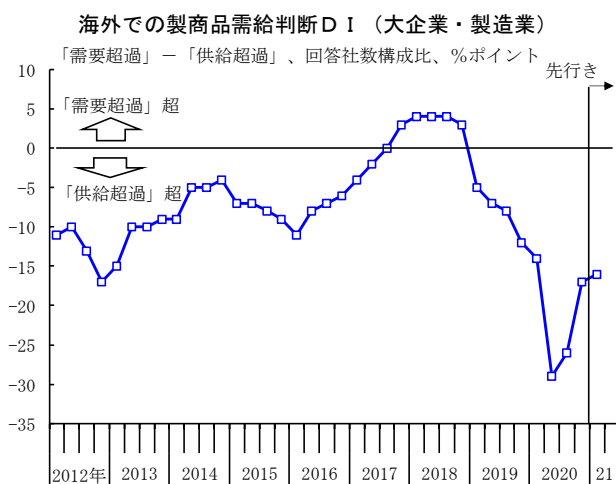
月の調査で発表される企業の新卒採用計画（全規模・全産業）は、今回、2020年度計画が前年比-2.6%となり、前回6月調査（同+0.2%）から下方修正され前年比マイナスに転じた。また2021年度計画も同-6.1%と、前回調査（同-5.6%）から下方修正されている。2020年度の業績が大幅な減収減益となる見通しであるため、企業は新卒採用計画を縮小している。

5. 国内需給は前回調査に続き、非製造業で回復の遅れが目立つ

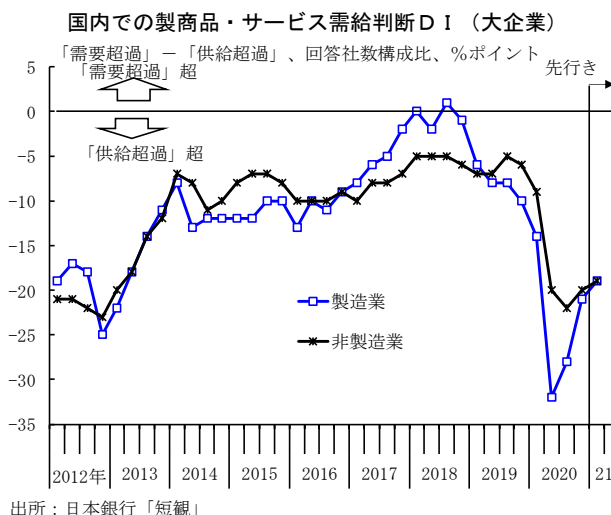
国内外の需給バランスはともに改善しているものの、前回調査に続き国内では非製造業の戻りの鈍さが見える。大企業・製造業の海外での製商品需給判断D I（「需要超過」マイナス「供給超過」）は前回調査比9ポイント上昇の-17と大きく改善した（図表8）。中国経済に続いて、米国や欧州の経済が4～6月期を底に回復基調に転じ、日本の輸出も持ち直しているためと考えられる。ただし、先行きの同D Iは今回調査比1ポイントの上昇にとどまっており、企業は今後の海外需要に対して慎重な見方をしていることが分かる。新型コロナウイルスの感染再拡大などにより、足元で欧米の経済が減速していることなどを懸念しているとみられる。

国内での製商品・サービス需給判断D I（「需要超過」マイナス「供給超過」）は、大企業・製造業が前回調査比7ポイント上昇の-21と大きく改善した（図表9）。ただ、大企業・非製造業の同D Iは-20と、前回調査比2ポイントの改善にとどまった。国内では新型コロナウイルスの感染が再び拡大し、自粛の影響が続く中でサービス消費の回復が鈍いことが、非製造業の需要回復の重荷になっていると考えられる。また、先行きの同D Iは、製造業が今回調査比2ポイントの上昇、非製造業が同1ポイントの上昇にとどまっている。新型コロナウイルスの感染が再拡大する中で、企業は先行きの国内需要の回復に慎重な見方をしているといえよう。

図表8 海外需給判断は改善傾向



図表9 非製造業の国内需給判断は依然低調



本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。